

文部科学省が決定する平成23年度の優良公民館表彰に山形村公民館が選ばれました。

文部科学省は毎年、地域住民の学習活動に大きく貢献している公民館を表彰しており、山形村公民館は、本年度表彰される全国67館のひとつです。

★地域づくりの拠点として公民館の事業が展開されていると評価されました。

☆魅力ある館報の発行

昭和25年8月創刊の「館報やまがた」は、翌26年から毎月発行になり、60年を超える歴史があります。創刊当時は公民館報のほかに地域の出来事・情報を伝える手段はなく、村の情報紙としての役割を担っていました。特に、村が直面するさまざまな課題・問題を検証するコーナーは、平成4年に始まり、現在まで続く人気のコーナーとなっています。

かつて市町村の広報コンクールで上位入賞を何度も果たした時代もあり、また平成19年の第1回全国公民館報コンクールにおいて、特別賞を受賞しました。

☆特に優秀な成果をあげていると認められた「心をつなぐ読み聞かせ絵本講座」

平成19年度に開設された年10回の講座で、1回の講座時間は1時間で、毎回、テーマを変えて行っています。

家庭において、絵本の読み聞かせによって子育てを行おうとする方々の要望に応える事業ですが、この講座の受講者が、毎週火曜日に山形村立山形小学校で絵本の読み聞かせボランティアとして活動しており、学校支援の観点でも成果が上がっています。

心をつなぐ読み聞かせ絵本講座



☆「リーダーバンク」による地域の人材の発掘と事業展開

「心をつなぐ読み聞かせ講座」の他にも、地域の各分野の“達人”に「リーダーバンク」に登録していただき、公民館講座や、山形小学校のクラブ活動の講師などを依頼しています。

超初心者のためのデジカメ教室



親子で楽しむ陶芸教室

